

工藤一郎国際特許事務所は、特許事務所独自の観点から、企業価値分析を行っています。

工藤一郎国際特許事務所では、技術という新しい切り口から見た企業の伸びる力を測定する指標、YK値を開発、情報提供しています。その有効性は様々な角度から肯定的に検証されています。

### 日本銀行 金融システムレポート 2013年4月



レポートの中では技術力指標として検証に弊所指標が採用され、「企業の将来の成長率（3年後までの売上高の累積成長率）と信用リスク（3年後までの累積デフォルト率）に対して、いずれも有意な説明力を有している」と結論されています。

「Ⅲ 金融仲介活動の点検—3. 貸出市場の点検」部分「全文」24～25ページ  
<http://www.boj.or.jp/research/brp/fsr/fsr130417.htm/>

### 金融緩和期だからこそ、新たな株式投資尺度を探る——特許価値と将来の経営指標や株価の関係（ニッセイ基礎研究所 金融研究部門 井出 真吾様） 月間資本市場 2013年3月号



- ✓ 業種内で相対的にYK値の高い企業は、**2年後の売上高伸び率、営業利益率の改善幅ともに高い傾向がある。**
- ✓ また、**2年後の予想ROEも高い。**
- ✓ PBRが同じ程度の銘柄では、**YK/MKVが高いほど将来の株式リターンも高い。**（下グラフ参照）
- ✓ YK/MKV ファクターはPBRと組み合わせることにより、**Value相場、Growth相場** いずれの市場環境でも有効に機能する。

<http://www.camri.or.jp/annai/shoseki/gekkan/2013/pdf/201303-5.pdf>

### 工藤一郎国際特許事務所 過去の実績

- ジャスダック企業 技術IR説明会の開催〔2010年～〕  
投資家の皆様に、企業様の技術競争力から見た成長力の高さ、投資先としての魅力をお伝えするセミナーです。
- 株式会社QUICKの端末でのデータ提供開始〔2011年～〕  
投資家に広く信頼される金融情報ベンダー株式会社QUICKを通じて、技術成長力から見た株価の割安度を示すQK値（株式会社QUICKと共同開発）を公開。  
QK値から見た有力企業を解説する「企業特許価値評価指標を読む」を連載  
**2014年5月、我が国の技術系産業の成長性や、技術成長銘柄の株価平均を示す指標「YKSインデックス」を公開開始。**
- 東京証券取引所と共同で「テーマ銘柄（特許価値で企業を視る）」公表〔2012年〕
- 日本銀行 金融システムレポートへの弊所価値評価指標（YK値）の採用〔2013年〕  
日本銀行 ワーキングペーパー「無形資産を考慮した企業のデフォルト率の推計」（金融貴校局 土屋幸貴様、西岡慎一様）へのYK値の採用〔2013年〕

# サービスのご紹介

工藤一郎国際特許事務所は、特許事務所独自の観点から、投資家の皆様を応援する情報提供を行っています。

**データ販売** 工藤一郎国際特許事務所は、**特許情報から企業の成長力を図る指標「YK値」**を独自開発、投資家の皆様に情報提供サービスを行っています。

## 【ご提供例】企業技術競争力報

証券番号	社名	業種	技術競争力	技術競争力	業種	技術競争力
3402	東レ株式会社	繊維製品	↑	↑	繊維製品	↓
3407	旭化成株式会社	化学	↗	→	化学	→
5411	JFEホールディングス株式会社	鉄鋼	↗	↗	鉄鋼	↗
6702	富士通株式会社	電気機器	↗	→	電気機器	↘
6502	株式会社東芝	電気機器	↗	↗	電気機器	↑

各企業の技術から見た成長力を5段階で評価。技術や特許にあまり馴染みが無い方でも、ひと目で企業間の比較ができます。

【基本価格】¥5,000/5社～

**分析レポート販売** 技術から見た各企業の特徴を簡潔なコメント形式で提供するサービスを行っています。

## 【ご提供例】企業技術競争力ランク情報

証券番号	社名	業種	技術成長力解説
5020	JXホールディングス株式会社	エネルギー・環境等	新日本石油（株）と新日鉱ホールディングス（株）を子会社として保有する形で2010年に設立。エネルギー事業、石油・天然ガス開発事業、金属事業を柱としている。特許は化成品分野における潤滑油関連の技術が目につく。今後の動向としては本業のほか、スパッタングターゲットをはじめとする電子デバイス関連技術に力を入れていくとする動きが見える。
5714	DOWAホールディングス株式会社	鉄鋼・非鉄・金属等	従来中心事業であった金属製錬事業からの脱却を多角化により目指している。主な事業会社は5社でそれぞれ主に環境・リサイクル事業、非鉄金属製錬事業、電子材料事業、金属加工事業、熱処理事業を担う。近年では中国に進出し、多くの現地企業を設立している。本業であった金属加工技術に長けており多くの特許を取得しているほか、ディスプレイ装置関連、インタフェース関連のエレクトロニクス、通信・情報技術についても競争力のある特許を保有しており事業多角化戦略が結果しているといえる。
6370	栗田工業株式会社	環境	「水」を事業の中心に据える事業をすすめるメーカー。水処理装置事業、水処理薬品事業、土壌・地下水浄化事業などを展開。近年では水処理施設の運転・維持管理や、水質等の分析などのサービス事業にも力を入れている。特許においても水処理関連技術が多岐にわたる。そのほか廃棄物・有害物処理の技術、例えば重金属含有物の処理方法などが競争力を有するものとして挙げることができる。
7911	凸版印刷株式会社	素材・通信・情報等	古からの製版技術を礎に、樹脂製品や繊維などの素材分野で事業を展開する。そのほか電子デバイス関連、さらには情報サービスなどの分野でも研究開発をすすめているとみられる。特許技術において注目すべきは、ディスプレイ装置のカラーフィルタ関連、及びいわゆる電子広告であるデジタルサイネージ関連技術である。
7951	ヤマハ株式会社	エンターテインメント等	楽器製造、ネットワーク機器、スポーツ用品など幅広い分野で事業を展開している。事業の特色としてはソフト面ハード面をミックスした事業展開を行っている点である。例えば本業の楽器製造にとどまらず、音楽教室事業を展開することにより楽器を使ってもらうような場を提供するといったモデルを古くから取り入れている。今後の動向としては、多数の特許を有する楽器製造事業を推進する傍らで、通信機器、電子部品などの領域においても力を入れていくとみられる。

企業の特許情報も事業と絡めて分かりやすく解説。他では目にする事の出来ないユニークな企業解説レポートです。

【基本価格】¥20,000/5社～

## セミナー開催

投資家の皆様向けに、各種セミナーを行っています。

内容や開催時期は工藤一郎国際特許事務所ホームページ<http://www.kudopatent.com/>をご覧ください。

YK値を始めとする、企業の技術成長力情報のスコアデータ提供やYKS技術業種分類\*のご提供等、様々な情報提供サービスのご提供が可能です。

お気軽にご相談下さい。

\*YKS分類：技術的観点から我が国の産業を分類し、そこに各企業を振り分けた世界初の技術から見た業種分類です。企業の保有特許に着目して振り分けを行っているため、一般的な業種分類よりも現実に則しており、企業のリアルな姿を視ることが出来ます。

各サービス詳細は工藤一郎国際特許事務所ホームページ<http://www.kudopatent.com/>もご覧ください。

工藤一郎国際特許事務所  
〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル南館9階  
tel:03-3216-3770 / fax:03-5220-5018  
URL: <http://www.kudopatent.com/>  
E-mail:office@kudopatent.com